

18 麻酔科フェロー研修要綱

指導責任者 宮津 光範

対象： 一般病院あるいは大学病院等において、ある程度の成人麻酔業務を経験し、これから新たに小児麻酔を勉強したい麻酔科医。麻酔科後期研修プログラム最終学年もしくは麻酔科専門医取得前後が望ましい。

目標：

1. 小児麻酔および産科麻酔における周術期管理能力を身につけること。
2. 麻酔シミュレーションを中心とした **off the job** トレーニングにより、小児麻酔における危機的状況に対処する能力を身につけること。
3. 臨床研究の実施と英文論文執筆を行うこと。

カリキュラム

1. 術前診察と麻酔計画

術前診察により全身状態を把握した上で、適切な術前評価ができるようになる。
小児の発達段階における違いを十分に理解した上で、指導医とともに麻酔計画を立案し、安全に麻酔管理を行うことができるようになる。

2. 小児麻酔全般および基本的手技

小児麻酔の基本であるマスク換気、声門上器具挿入、気管挿管および血管確保手技を身につける。仙骨硬膜外麻酔、エコーガイド下中心静脈穿刺や末梢神経ブロックを安全に施行できるようになる。

3. 小児心臓麻酔および周術期管理

先天性心疾患の解剖と病態生理、短期的および長期的治療方針を理解した上で、周術期管理に参加する。術中経食道エコーに関しては特に力を入れて教育してい

る。実際にエコーを操作して、小児循環器科医および心臓外科医と対等に議論できるまでの知識と診断能力を身につけることを目標とする。術後管理は小児集中治療科が行うが、麻酔科内にも集中治療専門医が在籍しており、PICUでの術後管理を見据えた上での、一貫性のある麻酔・周術期管理を行えるようになることを目指す。希望者はPICUでの研修も可能である。

4. 周産期麻酔

帝王切開術の麻酔、無痛分娩の管理および周産期対応を学ぶ。新生児の特性を理解した上で、新生児麻酔を安全に施行できるようになる。

5. 教育

最新の高機能シミュレータ（高忠実度マネキン）を用いた麻酔シミュレーション、ケースカンファランス、座学レクチャー等の組み合わせによる体系的な **off the job** トレーニングプログラムを月に2回経験する。他施設と連携したオンラインジャーナルクラブを主催し、フェローは発表者となる。テーマ別レクチャーや生物統計レクチャーを毎月受講することができる。レクチャーの多くはアーカイブされているので後日のeラーニングも可能である。

6. 研究

指導医とともに臨床研究を行い、英文での論文執筆を行う。統計の専門家、臨床研究の専門家が麻酔科に在籍しており、英文執筆指導も含め手厚い指導が受けられる。